

## (1) 砂防事業と連携した土砂対策

### ①流域全体の安全度を向上させるための河道計画の工夫

- 単断面の拡幅により被災前の河道に対し土砂を流す力(掃流力)が低下する場合は、**掃流力の確保のため複断面河道形状の採用**などを検討する。
- 掃流力を高めるため、一定規模以上の降雨に対する流下能力を確保した上で、勾配変化点などに床止め工を設置する等、**上流から下流へ河床勾配を徐々に緩やかにし、局所的な堆砂を抑制**することなどを検討する。

### ②流下能力を確保するための効率的な土砂撤去

- 河道内の土砂撤去を早急に行えるよう、**常設坂路の設置や作業ヤードの確保**などを検討する。
- 河道に流入した**土砂等の貯留施設の設置**などを検討する。
- 河道内の**土砂堆積状況を定期的に把握するモニタリングを行う**ことを検討する。

## (2) 地域防災力の向上に資するソフト対策

### ○洪水時における河川情報の提供

- 既存の水位計の無い河川については、**洪水時に河川水位を把握できる危機管理型水位計の設置**を検討する。
- 洪水の危険性を視覚的に伝え、的確な減災行動につなげるために**河川監視カメラの設置**を検討する。